スーパーポジション

文化の違いは数学的に説明できるのか？

-------

**客観的に見れば、数値的なアプローチをとれば、私たちはみな同じであることがわかるのだろうか？それとも、人と文化の違いは、私たちが考えているよりもずっと深いところにあるのだろうか？**

オランダと日本の数学者からなる国際的なトップチームが、文化の違いを説明するモデルの発見に近づいている。彼らの衝突や誤解は、その公式が大いに必要とされていることを示す最良の論拠となる。明るい蛍光灯の下でもディスコの照明の下でも、この4人の大胆不敵な数学者たちは文化的誤解の地雷原に足を踏み入れる。

オランダと日本、確率と幾何学、男と女、新人と経験の間の類似点と相違点が対比される。このショーは、巨大な陽動作戦によってのみ、互いを理解し合い、本当に理解し合おうとするものである。

演出 VANJA RUKAVINA
量子レベルでは、素粒子が「重ね合わせ」の状態にあるとき、それは同時に二つ（またはそれ以上）の状態にあります。私自身も二つの文化で育ち、常に二つの異なる環境から情報を得てきました。それぞれの社会を行き来しながら、いつもつながりと孤独を同時に感じています。また、十二年間日本語を勉強し、日本を何度も旅する中で、アウトサイダーとして第三の文化を垣間見ることや、自分の慣れ親しんだ世界の外に出ることがいかに重要なことかを知りました。それぞれの世界は互いにまったく異なっていても、どちらも等しく真実なのです。

について VANJA RUKAVINA
ヴァーニャは2011年にマーストリヒトのToneelacademie Maastrichtで演技の勉強を終え、卒業後すぐにInternationaal Theater Amsterdamで6年間いくつかのショーに出演した。2017年以降、ルカヴィナはヘット・ナショナル・シアター（Het Nationale Theater）で上演しており、2018年には『The Nation』の役でアルレッキーノ賞（最優秀助演男優賞）を受賞した。2014年には、ダリア・ブクヴィッチ、サマン・アミニ、マジャド・マルドと『Nobody Home』を上演し、シアターフェスティバルに選出された。カレル・ヴァン・ラーレとのコラボレーションによる自作公演『BOKKO』は8年にわたりヨーロッパ、中国、韓国を巡演し、2019年には言語とアイデンティティをテーマにしたソロ公演『LANGUAGE』を上演、同年のBNG Bank Theatre Prizeにノミネートされた。